# 調査の概要



#### 1 調査の概要

#### (1) 調査の目的

道政上の重要課題や主要施策に関しての世論調査を実施し、道民の道政に対する意向 や意識の的確な把握に努めるとともに、政策形成に反映させることを目的とする。

# (2) 調査項目

- 1) 食育・食品ロスについて
- 2) 少子化に対する意識について
- 3) 家庭及び地域の教育力について
- 4) 配偶者や交際相手からの暴力について
- 5) 犯罪のない安全で安心な地域づくりについて
- 6) 環境配慮に対する意識について
- 7) 文化に関する意識について
- 8) 北方領土問題について

## (3) 調査の方法

- 1) 調査地域 北海道全域
- 2) 調査対象 道内に居住する満18歳以上の個人
- 3) 標本数 1,500 サンプル
- 4) 地点数 150 地点
- 5) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- 6) 調査方法 郵送配付、郵送回収及び Web (スマホ) による回答
- 7) 調査期間 令和5年(2023年)9月~10月

#### (4) 調査実施機関

株式会社 ピーアールセンター

#### (5) 調査回収状況

標本数 1,500

有効回収数 (率) 790 (52.7%)

【回答方法内訳】

 郵送回答
 489 (61.9%)

 We b 回答
 301 (38.1%)

 合計
 790 (100.0%)

# 2 調査回答者の特性

区分	総数	比率
【総数】	790	100.0%
【圏域別】		
道央圏広域連携地域	507	64. 2%
道南圏広域連携地域	63	8. 0%
道北圏広域連携地域	73	9. 2%
オホーツク圏広域連携地域	45	5. 7%
十勝圏広域連携地域	53	6. 7%
釧路・根室圏広域連携地域	45	5. 7%
無回答	4	0. 5%
【人口規模別】		
札幌市	300	38. 0%
人口10万人以上の市	191	24. 2%
人口10万人未満の市	155	19. 6%
町村	138	17. 5%
無回答	6	0. 8%
【性別】		
男性	321	40. 6%
女性	450	57. 0%
回答しない	17	2. 2%
無回答	2	0. 3%
【年代別】		
18~29歳	103	13. 0%
30~39歳	137	17. 3%
40~49歳	153	19. 4%
50~59歳	190	24. 1%
60~69歳	143	18. 1%
70歳以上	62	7. 8%
無回答	2	0. 3%

区分	総数	比率
【職種別】		
自営業(農林漁業)	22	2. 8%
自営業(商工サービス)	29	3. 7%
自由業	21	2. 7%
事務職系	229	29. 0%
労務職系	137	17. 3%
主婦・主夫	134	17. 0%
学生	24	3.0%
無職	95	12. 0%
その他	94	11. 9%
無回答	5	0. 6%
【市町村居住年数別】		
1年未満	26	3. 3%
1~5年未満	61	7. 7%
5~10年未満	61	7. 7%
10~20年未満	104	13. 2%
20年以上	534	67. 6%
無回答	4	0. 5%

注) 個々の比率(百分率)は、少数第2位を四捨五入した。このため、各区分における比率の合計が 100.0%にならない場合がある。

#### 3 サンプリング

母集団 道内に居住する満18歳以上の個人

標本数 1,500 サンプル

地点数 150 地点

抽出方法 層化二段無作為抽出法

#### (1) 層化

① 北海道の市町村を、次の6圏域に分類した。

【道 央】 札幌市、★江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、 岩見沢市、美唄市、滝川市、砂川市、深川市、長沼町、栗山町、 ★小樽市、倶知安町、余市町、★苫小牧市、室蘭市、 登別市、伊達市、洞爺湖町、新冠町、新ひだか町

【道 南】 ★函館市、北斗市、七飯町、森町、八雲町、江差町

【道 北】 ★旭川市、名寄市、富良野市、東神楽町、上富良野町、中富良野町、 留萌市、羽幌町、稚内市、浜頓別町

【オホーツク】 ★北見市、網走市、紋別市、美幌町、遠軽町、湧別町

【十 勝】 ★帯広市、音更町、芽室町、幕別町、本別町、浦幌町

【**釧路·根室**】 ★釧路市、釧路町、根室市、中標津町

注)★印は、札幌市を除く人口10万人以上の市

② 各圏域については、「札幌市」「人口10万人以上の市」「人口10万人未満の市」 「町村部」と人口規模別に分類した。人口規模は、令和4年6月30日時点での住民基本台帳人口により分類した。

#### (2) 標本配分

調査対象が北海道内に居住する満18歳以上の個人であるため、令和4年6月1日時点の 選挙人名簿登録者数を推定母集団とし、その大きさにより150の調査地点数を各圏域へ 比例配分した。

### (3) 抽出

① 第1次抽出単位となる調査地点(条町丁字名別)の抽出

各圏域(各層)に配分した調査地点数を「住民基本台帳人口」を基に、圏域内の 人口規模別に分類した市町村へ比例配分し、調査対象市町村を選定した後、選定し た各市町村別に、比例配分された調査地点数分を「条町丁字名別」に無作為抽出し た。

# ② 第2次抽出単位となる調査対象者の抽出

対象者の抽出は、各調査地点(条町丁字名別)ごとに抽出間隔を算出し、住民基本 台帳から等間隔に10人抽出し、全道で合わせて調査標本1,500を抽出した。なお、抽出 に当たっては、満18歳以上の個人であることに留意した。

調査地点推定人口総数 = 抽出間隔

# (4) 抽出結果

圏域、人口規模ごとの標本数、調査地点数は次のとおりである。

地 域	人口規模	住民基本台帳 人口数 (R5.6.30現在)	選挙人名簿 登録者数 (R5.6.1現在)	標本数	地点数
	札幌市	1,959,838	1,687,090	560	56
道央広域	10万人以上	393,697	341,263	120	12
連携地域	10万人未満	642,123	558,836	190	19
	町村部	275,995	239,794	80	8
* =	10万人以上	241,936	214,417	70	7
道 南 連携地域	10万人未満	43,911	37,716	10	1
2052000	町村部	114,267	101,045	40	4
/ <del>大</del> - 11・	10万人以上	321,972	281,059	90	9
道 進 携 地域	10万人未満	112,783	99,267	30	3
Æ1042-13.3	町村部	133,007	114,747	40	4
. L. L. W. A	10万人以上	112,196	98,059	30	3
オホーツク連携地域	10万人未満	53,569	46,729	20	2
是1万地域	町村部	97,080	84,318	30	3
十 勝	10万人以上	163,131	140,759	50	5
連携地域	町村部	163,529	139,854	50	5
	10万人以上	158,807	139,860	50	5
釧路•根室 連携地域	10万人未満	23,111	20,245	10	1
(上1)4×11/3/	町村部	102,072	87,574	30	3
合	計	5,113,024	4,432,632	1,500	150

# 4 調査地点一覧

圏域	抽出市町村		抽出地点	
		W B 71 +	鳩が丘3丁目	
		岩見沢市	ふじ町2条2丁目	
		美唄市	進徳町	
	空知振興局	赤平市	茂尻中央町南	
		滝川市	泉町2丁目	
		歌志内市	字中村	
		奈井江町	字奈井江町本町	
		月形町	市北第二区	
			大通西21丁目	
			南8条西20丁目	
		札幌市中央区	北1条西28丁目	
		でがいて大区	北5条西21丁目	
			北6条西27丁目	
			宮の森2条3丁目	
道		-	北24条西11丁目	
央			北31条西13丁目	
広域			北34条西6丁目	
連		札幌市北区	新琴似2条12丁目	
携		小いがいいる	屯田6条4丁目	
地	石狩振興局		屯田8条3丁目	
域			拓北2条3丁目	
			あいの里2条2丁目	
			北17条東3丁目	
			北20条東15丁目	
			北23条東6丁目	
		札幌市東区	本町2条9丁目	
			東苗穂8条2丁目	
			東苗穂11条3丁目	
			東雁来8条1丁目	
			菊水1条2丁目	
			平和通4丁目北	
		札幌寺立て区	北郷2条9丁目	
		札幌市白石区	北郷4条2丁目	
			北郷5条4丁目	
			東札幌1条4丁目	

圏域	抽	出市町村	抽出地点
			豊平4条8丁目
			水車町2丁目
			平岸8条13丁目
		札幌市豊平区	美園1条3丁目
			美園11条4丁目
			月寒東2条12丁目
			西岡3条10丁目
			真駒内南町5丁目
		1 相 * 幸豆	澄川4条4丁目
		札幌市南区	石山東1丁目
			簾舞1条5丁目
			二十四軒1条2丁目
			八軒10条東3丁目
		札幌市西区	発寒3条1丁目
		10배하다 얼도	発寒4条7丁目
道			発寒12条11丁目
央			西野5条8丁目
広			もみじ台南2丁目
域	石狩振興局	    札幌市厚別区	厚別西4条1丁目
連	ים אין אוג אפ	10%(1)子/1)区	厚別東3条6丁目
携			大谷地東4丁目
地域		札幌市手稲区	富丘3条1丁目
15%			前田7条14丁目
			曙8条2丁目
			新発寒3条5丁目
			北野5条1丁目
		札幌市清田区	平岡9条3丁目
		100011113	真栄3条2丁目
			里塚2条1丁目
			ゆめみ野南町
		江別市	新栄台
		7277717	文京台
			大麻栄町
			朝日町4丁目
		千歳市	富丘1丁目
			あずさ5丁目
		恵庭市	大町2丁目
		יוייאיייוי	恵み野南2丁目

圏域	抽出	日市町村	抽出地点
	石狩振興局	11	美咲き野
		北広島市	大曲末広
			花川北3条3丁目
		石狩市	花川南6条2丁目
		当別町	獅子内
			祝津2丁目
		小樽市	潮見台1丁目
道	後志振興局		桜5丁目
央		倶知安町	北西 (市街地)
広		仁木町	大江2丁目
域			青葉町1丁目
連			幸町1丁目
携		苫小牧市	拓勇西町4丁目
地	胆振総合振興局		日新町4丁目
域			北光町1丁目
			西小路町
		室蘭市	中島町4丁目
			水元町
		伊達市	弄月町
		白老町	字萩野
	日高振興局	日高町	富川東5丁目
		様似町	字鵜苫
			大森町
			万代町
			田家町
道		函館市	富岡町3丁目
南			神山1丁目
連	渡島総合振興局		美原5丁目
携			桔梗4丁目
地		北斗市	七重浜6丁目
域		木古内町	字泉沢
		鹿部町	字本別
		八雲町	花浦
	桧山振興局	今金町	字今金

圏域	抽出	出市町村	抽出地点
			4条西1丁目
			6条西4丁目
			亀吉1条2丁目
			台場1条4丁目
	上川総合振興局	旭川市	忠和4条3丁目
道			東光2条2丁目
北			豊岡6条5丁目
連			永山1条16丁目
携			東旭川町東桜岡
地		士別市	東二条北8丁目
域		富良野市	住吉町
	上川総合振興局	東神楽町	栄町
		美瑛町	中町
	留萌振興局	増毛町	暑寒町4丁目
	宗谷振興局	稚内市	宝来1丁目
		浜頓別町	浜頓別
	オホーツク 総合振興局	北見市	桜町6丁目
			ひかり野6丁目
連ュ			常呂町字土佐
大   携 		網走市	駒場南1丁目
地ッ		紋別市	大山町1丁目
域ク		美幌町	字西二条南3丁目
		清里町	字江南
		遠軽町	南町3丁目
			東4条南27丁目
			西15条北5丁目
+		帯広市	西19条南2丁目
勝 連 携 地 域			西21条南2丁目
	十勝総合振興局		川西町西2線
		音更町	北鈴蘭南3丁目
		I X PJ	東通12丁目
		清水町	字旭山
		大樹町	柏木町
		幕別町	札內新北町

圏域	抽出市町村		抽出地点	
釧			春日町	
路		釧路市	白樺台5丁目	
	釧路総合振興局		桜ケ岡6丁目	
根			愛国西3丁目	
室			文苑 3 丁目	
連		釧路町	緑2丁目	
携		弟子屈町	高栄4丁目	
地域	根室振興局	根室市	光洋町1丁目	
以	似主派與问	中標津町	並美ケ丘1丁目	

#### 5 この報告書の見方

- (1) 回答率(各回答の百分率)は小数第2位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 設問説明文にて複数の回答を求めているものには、2 つ以上の回答を求めているものと、回答数に制限を設けているものがあり、いずれもその百分率の合計は100.0%を超える場合がある。
- (3) この調査は、標本調査であるため、全数調査の結果(真の値)から一定の範囲内で離れていることがある。これを標本誤差といい、層化二段無作為抽出の場合、信頼度95%のとき次の式で算出される。

上記の式により、回答者数 (n)、及び回答比率 (P) ごとに信頼度95%の標本誤差を計算すると、おおよそ次のとおりとなる。

回答比率 (P) 回答者数 (n)	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
790	±3.02%	±4.02%	±4.61%	±4.93%	±5.03%
500	±3.79%	±5.06%	±5.80%	±6.20%	±6.32%
300	±4.90%	±6.53%	±7.48%	±8.00%	±8.16%
100	±8.49%	±11.31%	±12.96%	±13.86%	±14.14%

# 注) この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数 (n) が790 で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差は95%の信頼度で、 $\pm 4.93\%$ 以内(55.07 $\sim$ 64.93%)である」とみることができる。

- (4) 圏域別(道央、道南、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室)の該当市町村については、 別途「4 調査地点一覧」(P7~P11)に記載している。
- (5) 設問ごとの解説は、回答数の多かった上位3項目を【全体】に記載し、このうち上位2項目について、【圏域別】【人口規模別】【性別】【年代別】【職種別】【居住年数別】の種別による状況を記載した。

【職種別】の種別による状況において、「自営業(農林漁業)」、「学生」の回答比率が上位2項目となった場合、回答者数が少なく標本誤差が大きいことから、「自営業(農林漁業)」、「学生」を除外した記述とした。